

第30回全国青年・女性漁業者交流大会受賞者（グループ）一覧

農林水産大臣賞

分科会	都道府県名	発表題名	発表者（グループ）名
1	千葉	未来に向けてイセエビの資源管理を振り返る —綿糸網に紡いできた太海の思い—	鴨川市漁業協同組合 太海エビ網組合
2	大分	ブランドをつくる！ —若武者の挑戦—	浪井丸天水産 代表 浪井 大喜
3	山口	漁師の会社 （同）大兵食品 —漁師による6次産業化の取組—	合同会社 大兵食品
4	富山	「シロエビが育む地域の未来」 —サステナブルな漁業による地域活性化—	新湊漁協青年部 野口 和宏 (富山湾しろえび倶楽部)
5	北海道	離島水産業の3つの課題 —島の漁師は何でもやる—	ひやま漁業協同組合 青年部 奥尻支部

水産庁長官賞

分科会	都道府県名	発表題名	発表者（グループ）名
1	宮城	鮫浦湾で生きる —浜で取り組むホヤ・ナマコ種苗生産—	宮城県漁業協同組合 谷川支所青年部
	兵庫	フリー配偶体によるワカメの種苗生産技術の高度化	南あわじ漁業協同組合わかめ協議会種苗部
2	三重	若者自ら考え担う、定置漁業の未来 —就業から定着への工夫—	株式会社 早田大敷
	佐賀	海況予測の活用によるいか釣り漁業のスマート化	佐賀玄海漁協青壮年部 呼子支部
3	神奈川	「小田原あんこう」知名度向上の取組 —持続可能な地域の名産を目指して—	小田原市漁業協同組合 刺網部会
	石川	SNSで販売PR —能登かきを事例に—	有限会社 山口水産
4	宮城	たみこの海パックが『伝える』思い —地域の未来はきっと女性が握っている—	たみこの海パック
	鹿児島	長浜地区で漁業を続けるために —我々を育んだ甌島の海を次の世代へ—	長浜漁業集落
5	岩手	藻場再生から始まった漁業者の新たな形 —多様な取組で守り育てる漁業へ—	新おおつち漁業協同組合 青年部
	三重	漁業「海女」はどうなってしまうのか —令和の海女たちができること—	大野 愛子

農林中央金庫理事長賞

分科会	都道府県名	発表題名	発表者（グループ）名
1	青森	ナマコ資源の増大を目指して —未永く漁業を続けるために—	福田 伸吾
2	宮崎	さかなのまち「かどかわ」を未来につなぐために —門川の漁業を活性化させるための挑戦—	中崎 瑛斗
3	福島	対話と行動で築く、常磐ものの未来	いわき市漁業協同組合 青壮年部勿来支部
4	熊本	地元にこだわり、荒波を乗り越える —「えび庵」来客10万人までの道のり—	遠山 菊江
5	北海道	島のまごころ 忘れずに —レブンカを若き世代へ—	香深漁業協同組合女性部

JF全国女性連・JF全国漁青連会長賞

分科会	都道府県名	発表題名	発表者（グループ）名
1	京都	海の恵みを守るために一致団結！ —クロマグロの資源管理の取組—	京都府定置漁業協会
2	北海道	浜も多様性の時代に —外国人技能実習生が来てくれて本当に良かった—	増毛漁業協同組合 ホタテ増養殖部会
3	新潟	佐渡における魚食普及活動 —お魚料理教室を通して—	新潟魚食普及の会（佐渡地区）
4	岩手	あかもくパワーで岩手から元気を！	釜石湾漁業協同組合 白浜浦女性部
5	長崎	未来につなげよう俺たちの青年部活動	九十九島漁業協同組合 鹿町青壮年部

全国水産試験場長会会長賞

分科会	都道府県名	発表題名	発表者（グループ）名
5	熊本	アマモ場を再生し、豊かな天草の海を残す	御所浦地区壮青年部グループ

JF共水連会長賞

分科会	都道府県名	発表題名	発表者（グループ）名
5	沖縄	カツオの島の現在地 —伊良部島のこれまでとこれから—	伊良部漁業協同組合 小型船主会

全国漁連海面魚類養殖業対策協議会会長賞

分科会	都道府県名	発表題名	発表者（グループ）名
2	福井	新たな敦賀のブランド魚「敦賀真鯛」	敦賀市海水養魚協会

全国漁業協同組合連合会会長賞 36全グループ（者）受賞

部門：1. 資源管理・資源増殖、2. 漁業経営改善、3. 流通・消費拡大、4. 地域活性化、5. 多面的機能・環境保全